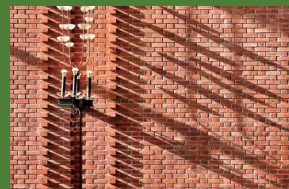


北海道博物館の建物について

北海道博物館の建物は、1970年(昭和45年)12月に北海道開拓記念館として建設されました。



この建物自体が長く後世に残る記念建造物となるようにとの当時の北海道知事の要望により、その設計を北海道と縁の深い建築家である佐藤武夫に依頼しました。佐藤武夫は、即座に「大量のレンガを用いること」と「単純な四角い建物にすること」を決めたと言われています。

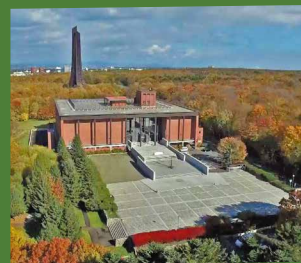


また、建物に見られる芸術家による作品や、細部に至るまでのさまざまな装飾は、建物と一体となって計画されており、建築と芸術が渾然一体となった魅力ある建物となっています。



北海道博物館 建物概要

竣工:1970年12月5日
設計:佐藤武夫設計事務所
構造:RC造、一部SRC造
建築面積:4,018㎡
延床面積:12,947㎡
総合展示室:3,011㎡
特別展示室:655㎡
収蔵庫:2,392㎡



北海道博物館のウェブサイトにて、建物の概要について詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。



総合展示では、「北東アジアのなかの北海道」、「自然と人のかかわり」をコンセプトに、北海道の自然・歴史・文化を、5つのテーマで紹介しています。



1 北海道120万年物語 2 アイヌ文化の世界 3 北海道らしさの秘密



4 わたしたちの時代へ 5 生き物たちの北海道

時間/9:30~17:00(10月~4月は16:30まで) ※入館は終了の30分前まで
観覧料(総合展示室)/

一般600円 高校生・大学生300円

※中学生以下・65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方は無料

※10名以上の団体は一般500円、高校生・大学生200円

※特別展は別料金がかかります。 高校生の修学旅行(10名以上)は無料

休館日/毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は直後の平日・年末年始(12月29日~1月3日))
※このほか臨時休館もあります。

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2

011-898-0466 www.hm.pref.hokkaido.lg.jp

@Hokkaido_Museum

YouTubeチャンネル | 北海道博物館チャンネル【公式】



森のちやれんが

北海道博物館

たてももの
みどころ
ガイド

森のちやれんが 北海道博物館

北海道博物館は、札幌市の中心部から東方約15kmの地点にある道立自然公園野幌森林公園の中にあります。札幌市、江別市および北広島市の3市にまたがる公園の区域は、標高20~90mのなだらかな丘陵地に広がる森林を主とします。面積2,053haのこの公園は、大都市近郊にある自然性の高い平地林としては世界的にも例が少ない貴重なものです。



北海道博物館の愛称である「森のちやれんが」は、公募によって選ばれ、この野幌の森の緑に囲まれた美しいれんがの博物館を、北海道庁日本庁舎である赤れんが庁舎とともに世界に発信したいとの思いがこめられています。



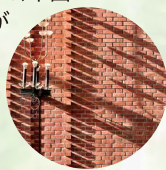
たてもの みどころ ガイド

突如出現するレンガの建築。
この建物は、意図的に周囲の木々で
視界が遮られ、建物に近づくと
突然視界が広がり、建物が
眼前に現れるように演出されています。
また、建物の高さは、周囲の森林と
調和するように設計されました。



レンガ

この建物には、この野幌丘陵の土を材料につくられた
75万個ものレンガが使用されています。その積み
方は、長手と小口（短手）を交互に並べるフランス
積みで、凹凸をつける装飾によって、平面
ではないデザイン性のある壁面が
つくられています。一番下には、
塩焼きレンガと呼ばれる色が
違うレンガが並んでいます。



やってみよう！

レンガは土や焼くときの条件に
よって微妙に色が変わります。
遠くから見たり、近くから見たり
して、印象の違いを味わってみて
ください。



フランス積み

羽ばたき 制作：山内壮夫

アプローチデッキに立つ彫刻。北海道を代表する
鳥である「鶴」をモチーフとしています。左右のデザ
インや向きを微妙に変化させることで、左右非対称
の建物と調和するように工夫されています。

やってみよう！

彫刻の手前で、「バン！」と力強く
手を叩いてみましょう。鶴が羽ば
たいていく音が、湾曲した両側の
壁にこだまします。鶴はどこに
飛んでいくのでしょうか？



フィクション

この建物は、一見するとレンガ造りに見えますが、
実は鉄筋コンクリートで建てられています。あえて
レンガの壁で覆い、柱などを隠すようにしています。
また、外観を特徴づける列柱は、構造としての機能
は持ちません。さらに、天井の構造をみせる梁
のうち小さい梁は、必要以上に細かく設け
られています。このように、構造として意味
をなさない「フィクション」のデザインが、建
物に想い描いた理想を体現しています。



総合展示室と収蔵庫

この絵で屋根に隠されている部分には、総合展
示室があります。絵では省略していますが、展示
室に入ると広がる吹き抜けの空間も、建物の魅
力の一つです。また、デザイン性を重視し、地下
に配置された収蔵庫には約20万件もの
資料が保管されています。



モザイクタイル模様 制作：矢橋六郎

グランドホールの足元には、ライラックを
モチーフとした大きなモザイクタイル画が
あります。2階や階段などからは、ライラック
模様の全体像を見下ろすことができます。



グランドホール

幅約20m、高さ約15mにおよぶレンガに囲まれた大空間。
高く連なるシャンデリアや、力強い構造を見せる天井梁、
足元のモザイクタイル、タペストリーなど、この空間を魅力
的なものにするさまざまな工夫が織り重なっています。

やってみよう！

モザイクタイル模様の輪の中心に立って、
上から下までゆっくりとこの空間を
堪能してみましょう。

アプローチデッキ

タペストリー 制作：田中忠雄

グランドホールの縦3m、横2mのタペストリーには、
北海道章がさまざまな色調でデザインされて
おり、訪れた人びとを建物の中心から迎え入れて
います。
記念ホールの縦8m、横4.5mのタペストリーには、
北海道の自然を表す動植物が描かれ、特別な
空間に彩りを与えています。



列柱

四角いレンガの建物の正面と背面には、
細い列柱が建ち並びます。この列柱に
よって、重厚なレンガの存在感が和らぎ、
人びとは建物に惹き込まれていきます。



記念ホール

式典などに用いられる高さ約10mの特別
な空間。ステージ側は、レンガに囲まれた
荘厳な空間に、タペストリーが掲げられて
います。その反対面には、蹄鉄の壁と大き
なガラス窓。そして室内を照らすシャン
デリアは、陽が沈むと両側にある大きな
窓が合わせ鏡となり無限に連なって
いくように見えます。

やってみよう！

タペストリーを見ながらステージの方向へ
足を進め、振り返って蹄鉄の壁を見てみま
しょう。その時、あなたは何を想いますか？



蹄鉄の壁

木レンガに打ち込まれた約
1,600個の蹄鉄は、北海道の
産業や生活に重要な役割を
果たした馬の功績を
たたえ、供養する
意味がこめら
れています。



屋上

地面から約17mの高さにある屋上。建物は標高約
50mの地点にあるので、標高約70mの高さから札
幌のまちなみを見渡すことができます。条件が整う
と、羊蹄山まで見ることが出来ます。暖かくて天候が
良い祝休日には、特別開放することがあります。



額縁

正面のアプローチデッキからロビーにかけての建物
の中心軸は、百年記念塔に向かうように建てられて
います。そのため、記念塔の見え方もデザインされ
ており、北側出入口やガラス窓
は、まるで記念塔をかざる
額縁のようになっています。

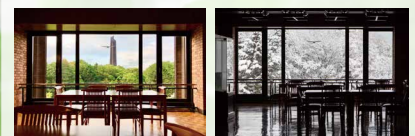


休憩ラウンジ

森林に囲まれ、四季折々の風景に包まれな
がら、ゆっくりとしたひとときを過ごすことが
できます。

やってみよう！

休憩ラウンジのレンガは、あえて他の空間と
は異なる色のレンガが用いられています。見
比べてみましょう。



アイアングリル

建物内のさまざまな場所にある鉄製
のグリル。ところどころに北海道らし
いモチーフがあしらわれたデザイン
が施されています。

やってみよう！

グリルを通して、建物の内外を見てみましょう！
また、それぞれのデザインがどんなモチーフなのか
想像してみましょう。答えは、裏表紙のQRコードから。



光と影

グランドホールや記念ホールの大きな窓から
は、陽射しが差し込みます。季節や時間によって
うつり変わる光と影も、建物の大きな魅力です。

やってみよう！

時間の流れとともに変化する光と影を感じてみましょう。

